

## 経営理念

# 「人間貢献・社会貢献」

## モスバーガー基本方針

お店全体が善意に満ちあふれ

誰に接しても 親切で優しく 明るく朗らかで

キビキビした行動 清潔な店と人柄

そういうお店でありたい

「心のやすらぎ」 「ほのぼのとした暖かさ」を

感じて頂くために努力しよう

## INDEX

目次／経営理念／基本方針	01
ブランドメッセージ	02
モスグループの紹介	03
<特集:共に歩む>	05
共に成長する(モスアカデミー)	07
共に旬を感じる(モスの産直野菜フェスタ)	09
共に食の喜びを考える(ソイパティ・豆乳のスイーツ)	11
共により良い未来へ(ミラノ国際博覧会)	13
海外店舗のモスライスバーガー事情	15
<モスの約束>	16
商品・サービス	17
地域・社会貢献活動	19
環境活動	20
「モスバーガー グリーン大賞2015」受賞活動報告	21
コーポレート・ガバナンス	23
ステークホルダーとの対話	25
社会・環境活動のあゆみ	27
数字で見るモス	28
第三者意見	34

## 報告対象組織

株式会社モスフードサービス及びモスバーガーチェーン(本部・直営店・加盟店)。ただし、モスバーガー以外の事業やグループ会社の一部についても報告しています。  
本レポートをお読みいただく際は、以下をご参照ください。



※本レポート中の店舗名及び役職は2016年3月現在のものです。

## 報告対象期間

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)  
ただし一部、2016年度以降の継続的な活動や将来の目標も報告しています。

## 発行

今回の発行:2016年6月(前回の発行:2015年6月)  
次回の発行:2017年6月(予定)

アイコンのある項目は、  
ホームページで  
詳しくご紹介しています。

Web <http://mos.jp/>

表紙イラスト/ママダ ユースケ

## BRAND MESSAGE

ステークホルダーの皆さまとの関係性を大切に、  
100年企業を目指して歩み続けます。



株式会社モスフードサービス  
代表取締役会長兼社長

柳 心 三

モスではステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切に、事業を遂行しています。お客さまや地域の皆さまとのダイレクト・コミュニケーションの場として2011年より開始した「モスバーガータウンミーティング」は、2015年に47都道府県での開催を達成することができました。タウンミーティングの場で頂戴したご意見・ご要望をもとに、朝モスやソイパティの開発など、商品・サービスとして具現化できたものも複数あります。

モスにとってのステークホルダーとは、共感者、支援者、協力者、そして「師」であり、皆さまとは血や心が通った家族のような関係性でありたいと考えています。家族が交わすような、形式ばらない自然な会話の中には、真のお気持ちやご要望が表れます。そこには、新たな施策や既存施策の改善など、たくさんのヒントが詰まっていると思うのです。外食産業という狭い世界にいる私たちだけでは気づきにくいことを、さまざまな立場で生活をしているステークホルダーの皆さまが教えてくださり、その声をヒントに、新たな商品・サービスを生み出します。まさにモスは、ステークホルダーの皆さまと共に歩んでいるのだと、日々感じています。

このたび、2016年度を初年度とする3カ年の「モスグ

ループ中期経営計画」を策定しました。6年後には、創業50周年を迎えます。その時にモスグループがどうなっていたいのかをデザインし、それを3年ごとの計画として整理したものです。中期経営計画の先には「日本発のフードサービスグループとして世界ブランドになる」を目標として掲げています。現在は、国内モスバーガー事業、海外モスバーガー事業、そして新規事業の3つを事業の柱にしていますが、収益面からみても、圧倒的に国内モス事業の比率が高い現状があります。しかし国内市場は無限ではありません。国内モス事業の安定を図り、新規事業を盛り上げつつ、海外モス事業のシェアを高めていくことを目指し、まずは3年後への強い意志を形にしました。

これらは今後グループを担っていく若い世代が、モスの経営理念、創業の心、基本方針、経営ビジョンとともに、自らの言葉で語っていける、わかりやすい内容であることも意識しました。お店で働くキャスト(パート・アルバイト)を含め、モスグループに関わるすべての人が理解し、自らの目標に変換して、今日の仕事や明日の自分を考え実行していくことが、50年、さらには100年企業としてのモスグループにつながると信じています。今後のモスグループにご期待ください。